

町田市生涯学習推進計画 2019 - 2023

事業実績（2019年度分）報告

2020年9月

町田市教育委員会

目 次

1	事業実績の報告について	1
2	達成状況の評価基準	1
3	評価の対象となる取組.....	2
4	2019 年度に実施した取組の事業実績	
	施策 1 家庭教育を支える環境を整備する	
	取組 1-1～1-4 の事業実績	3
	施策 2 学びのきっかけとなる機会を提供する	
	取組 2-1～2-10 の事業実績.....	7
	施策 3 学習を“広げる・深める”を支援する	
	取組 3-1～3-8 の事業実績	17
	施策 4 学習成果を活かす機会を充実する	
	取組 4-1～4-8 の事業実績	25
	施策 5 学習を支える環境づくりを進める	
	取組 5-1～5-9 の事業実績	33

1 事業実績の報告について

(1) 目的

町田市教育委員会では、2019年3月に「町田市教育プラン（以下、「教育プラン」という。）2019-2023」で定める生涯学習施策を具現化するためのアクションプラン（行動計画）として、「町田市生涯学習推進計画（以下、「生涯学習推進計画」という。）2019-2023」を策定しました。「生涯学習推進計画 2019-2023」は、教育プランで定めた「重点事業」を中心に39の取組を定めています。

町田市教育委員会では、本計画に定めた取組を着実に推進するため、達成状況を年度ごとに確認し、事業実績を毎年度公表します。

(2) 新型コロナウイルス感染症による影響について

町田市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として、所管する生涯学習施設を休館したり、イベント等を中止したりするなど、多くの対策を講じてきました。今回評価を行った取組の中にも、影響を受けた取組が多くあります。

今後は、「生涯学習推進計画 2019-2023」を基本として取組みながらも、新型コロナウイルス感染症対策も含め、生涯学習を取り巻く環境の変化を十分に注視して取組むとともに、目標設定や取組に対する評価について様々な検討を行う必要があります。

2 達成状況の評価基準

各取組の評価は、活動指標ごとに、下記の達成状況の基準により行っています。

評価		達成状況の基準、考え方
A	計画以上に目標を達成した	効果的で優れた取組を行い、年度目標を上回って達成し、最終年度の目標達成に向けて大きな成果があった。
B	目標を達成した	効果的な取組を行い、年度目標を達成し、最終年度の目標達成に向けて成果があった。
C	おおむね目標を達成した	年度目標には達しなかったものの、効果的な取組を行い、最終年度の目標達成に向けて一定の成果があった。
D	目標に達しなかった	取組を行い、一定の成果はあったものの、年度目標を達成することができず、最終年度の目標達成に向けて課題や問題点があった。
E	目標を大きく下回った、実施できなかった	取組を行わなかった、または行ったものの成果があがらなかった。 大きな課題や問題点があり、取り組むことが困難で滞っている。

3 評価の対象となる取組

<p>施策1 家庭教育を支える環境を整備する</p> <p>取組 1-1 保護者向けの学習機会の充実【◇】</p> <p>1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】</p> <p>1-3 保育室を利用した家庭教育支援事業の促進</p> <p>1-4 親子でことばに触れる機会の充実</p>
<p>施策2 学びのきっかけとなる機会を提供する</p> <p>取組 2-1 学習情報の発信力の強化【◇】</p> <p>2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】</p> <p>2-3 子ども読書活動の推進【◇】</p> <p>2-4 学校図書館との連携強化【◇】</p> <p>2-5 生涯学習施設の利用促進</p> <p>2-6 読書普及事業の充実</p> <p>2-7 シニア世代向け事業の充実</p> <p>2-8 障がい者サービスの充実</p> <p>2-9 図書館資料による情報提供機会の充実</p> <p>2-10 「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実</p>
<p>施策3 学習を“広げる・深める”を支援する</p> <p>取組 3-1 地域の課題解決に向けた学習支援【◇】</p> <p>3-2 町田の歴史情報の提供【◇】</p> <p>3-3 「文学の扉」事業の推進【◇】</p> <p>3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進</p> <p>3-5 文化財の公開・活用の充実</p> <p>3-6 展示事業の充実</p> <p>3-7 講座・講演会事業の充実</p> <p>3-8 レファレンスサービスの充実</p>
<p>施策4 学習成果を活かす機会を充実する</p> <p>取組 4-1 市民提案型事業の推進【◇】</p> <p>4-2 協働による研究・発表の推進【◇】</p> <p>4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】</p> <p>4-4 学習成果の発表機会の支援</p> <p>4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進</p> <p>4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実</p> <p>4-7 図書館運営の地域協働化の促進</p> <p>4-8 市民の文学活動への支援</p>
<p>施策5 学習を支える環境づくりを進める</p> <p>取組 5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】</p> <p>5-2 本と出会う場所の創出【◇】</p> <p>5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】</p> <p>5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存</p> <p>5-5 図書館利用者の利便性の向上</p> <p>5-6 地域資料の活用の推進</p> <p>5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施</p> <p>5-8 町田の文学の継承</p> <p>5-9 文学財産の保存</p>

◇…教育プラン重点事業

■取組1-1 保護者向けの学習機会の充実【◇】	生涯学習センター
--------------------------------	----------

事業概要	保護者を対象に、子どもの年齢や成長に応じて生じる悩みや問題の解消につなげる学習機会を提供します。実施にあたっては、保護者をはじめ学校、PTAなど幅広くニーズを調査し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0歳児・1歳児とその保護者、妊婦を対象とした「まなびのひろば事業」、乳幼児期から思春期までの保護者向けの学習講座を定期的実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①まなびのひろば*延べ参加者数		698人	880人	
	②家庭教育講座延べ参加者数		459人	570人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	保護者の学習機会の把握		アンケート等によるニーズ調査・事業内容への反映		
	各種学習事業の実施				
年度目標 (指標①)	730人	760人	800人	840人	880人
年度目標 (指標②)	480人	500人	520人	540人	570人

*まなびのひろば：生涯学習センターで実施する市内在住の0歳児・1歳児とその保護者、または妊婦を対象とした子育てに関するひろば事業。手遊びやスキンシップ遊び、絵本の読み聞かせ、保護者同士の情報交換などを行う。

<2019年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	D 目標に達しなかった
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の保護者や妊娠中の方を対象とした「まなびのひろば」事業として、母親と子が参加する「きしゃポッポ」を30回、父親と子が参加する「パパきしゃ」を10回実施するなどし、延べ参加者数（保護者）は512人でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年3月は事業を実施できませんでした。
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座では、乳幼児の保護者向け講座を20回、幼児の保護者向け講座を4回、小学生の保護者向け講座を低学年向け2回、高学年向け4回、思春期の保護者向け講座を4回それぞれ実施し、延べ参加者数は629人でした。 ・各講座終了後はアンケートを実施し、講座内容や学習意欲に関する保護者のニーズを調査しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者から話し合いを深めたかったとの意見が寄せられており、受講者が交流できる企画を増やすなど、アンケートを参考に事業内容を検討する必要があります。 ・広報、ホームページ、チラシ配布、口コミによる宣伝に加え、保護者の年齢層に応じた宣伝の方法を工夫する必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度の実施状況を検証し、受講者のニーズを反映した企画内容のひろば事業と各講座を実施します。 ・講座終了後にアンケートを実施し、保護者のニーズを調査します。 ・小学生の保護者向け講座は低学年と中高学年を対象にそれぞれ実施し、子どもの成長に応じた学習機会を充実させます。 ・2019年10月から開始したツイッターによる周知をさらに活用して広報を行います。

■取組1-2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援【◇】	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	まなびのひろば事業や子育て講座などの学習機会を地域で展開できるよう、担い手を育成します。実施にあたっては、関係機関と連携しながら、ニーズの把握、育成プログラムや修了後の活動拠点などの検討を進め、家庭教育支援の充実を図ります。				
これまでの取組	家庭教育支援の担い手を育成する事業として「家庭教育支援学級」を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①担い手育成事業修了者数（累計）		31人	164人	
	②修了者が企画した学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	育成プログラム及び活動支援手法の研究		担い手育成事業の実施 修了者の活動支援の実施		
	修了者が企画した学習事業（3事業）実施		修了者が企画した学習事業（4事業）実施	修了者が企画した学習事業（5事業）実施	
年度目標（指標①）	31人	62人	95人	129人	164人
年度目標（指標②）	3事業	3事業	4事業	4事業	5事業

<2019年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児及び幼児の保護者の各学習講座修了生で構成する学習会を27回、学級形式の家庭教育担い手育成事業を20回実施しました。修了者は47人でした。 子育て推進課、児童青少年課と連携事業を実施し、情報交換を行いました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で学習した各グループによる、子育てカフェの定期開催、市民提案型事業「まちチャレ」の企画運営など5事業の活動を支援しました。 東京都公民館連絡協議会保育部会に3回参加し、次年度の事業に反映できるよう他市の実践を学びました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業中の母親が受講する例が増えており、講座修了後、多くの受講生が職場復帰、再就職するなどライフスタイルが変化するため、活動の継続が難しい状況です。本事業、講座を卒業したグループが地域で活躍できる支援策について研究、検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 担い手を育成する事業、講座を実施するとともに、修了生が地域での活動を継続して行えるよう、より実践的な育成プログラムを展開します。 東京都公民館連絡協議会保育部会への参加により、他市における講座修了者への支援策を調査研究し、新規団体及び既存団体が継続して活動できる環境を整えます。

■取組1-3 保育室を利用した家庭教育支援事業の促進	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	子育て中の市民が親子向けイベントや講座により多くの参加機会を得られるよう、また自ら活動することができるよう、市民活動団体や市の各部署に働きかけを行い、生涯学習センターの保育室を活動の場とした家庭教育支援事業の促進を図ります。				
これまでの取組	保育室は、生涯学習センターが直接事業に使用するほか、ホールや学習室等で市民の学習活動がある際に補助的に利用されています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	保育室の年間施設利用回数		280回	380回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	情報収集 周知方法の 検討	検証	検証結果に基づく周知活動の見直し		
	市民活動団体への周知・市の各部署との調整				
年度目標	290回	300回	320回	350回	380回

＜2019年度の事業実績＞

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室を活動の場とした家庭教育支援事業について、まちだ子育てサイトやツイッターによる情報発信を行いました。 ・ホールや学習室等で市民の学習活動がある際の補助的な保育室の利用や、生涯学習センター主催事業による利用のほかに、地域子育て相談センターの事業による利用や、修了者サークルの活動の場として支援しました。 ・保育室の年間施設利用回数は244回で年度目標を下回りましたが、2018年度と比較して利用回数は7回、利用者数は260人増加しました。ただし、2020年3月については新型コロナウイルス感染症拡大防止に観点から、施設の貸出しを行うことができませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室を活動の場とした家庭教育支援事業の促進に向け、さまざまな媒体を活用して、更なる周知活動を進める必要があります。 ・主催事業のほかに保育室の利用の増加につながる支援の方策の検討が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者の目により届くよう、ツイッター等を活用してこまめな情報発信を行います。 ・修了者団体など市民活動団体の活動の場としての利用や、市の各部署が実施する事業での利用につながるよう、連携を図ります。 ・新しい生活様式に沿った運用を検討します。

■取組1-4 親子でことばに触れる機会の充実	文学館
------------------------	-----

事業概要	子どもたちの感受性を育むことができるよう、わらべ唄遊びや絵本の読み聞かせ、ことば遊びなどを通じて、コミュニケーションの基本・文学への入り口となる「ことば」に触れる機会を提供します。保護者にもその楽しさを体験してもらうことで、家庭での教育や親子のコミュニケーションに活かせる内容となるよう実施します。実施にあたっては、参加者のニーズを把握し、事業内容に反映していきます。				
これまでの取組	0～4歳児とその保護者を対象にわらべ唄や絵本の読み聞かせを行う「ちちんぷいぷい」、「2歳児あつまれ!」、「3・4歳児あつまれ!」を実施しています。また、3歳から小学生の子どもとその保護者を対象に、リトミックとことば遊びを取り入れた「クリスマスおたのしみ会」を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	乳幼児から小学生とその保護者を対象とした事業数		7事業	9事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	アンケート等による ニーズの把握		ニーズの事業への反映		
	各種学習事業 (7事業)実施		各種学習事業 (8事業)実施		各種学習事業 (9事業)実施
年度目標	7事業	7事業	8事業	8事業	9事業

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 従来取組に加え、お正月事業として行っている「はじめてのお能体験教室」「みんなで楽しむ競技カルタ」において親子参加の枠を広げました。また、町田パリオ主催の「バリコレッ! キッズフェスティバル」に参加し親子対象のワークショップを行うなど、計7事業を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的を明確化し、より効果の高い周知方法を検討する必要があります。 より一層参加者のニーズ把握に努める必要があります。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方策を取りながら、事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 現在実施している事業の意義、ニーズを総合的に判断して、今後の事業展開につなげていきます。 新たな生活様式に沿った運用を検討します。

■取組2-1 学習情報の発信力の強化【◇】	生涯学習センター
------------------------------	----------

事業概要	学習情報をより多くの市民に提供できるよう、町田市ホームページモバイル（スマートフォン版）の学習情報誌「生涯学習NAVI」の利用促進を図ります。さらに、他団体で発信している情報誌やホームページなどの情報発信媒体との連携を図り、情報発信力を強化します。				
これまでの取組	ホームページや「生涯学習NAVI」の内容を見直しました。また、学習情報に関するポータルサイトの構築に向けて検討しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施		未実施	実施（2020年度）	
	②新たな情報発信媒体の活用		未実施	活用（2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	利用促進に向けた手法の検討	スマートフォン版「生涯学習NAVI」利用促進に向けた取組の実施・検証			
	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	新たな媒体の活用・検証		
年度目標（指標①）	検討	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
年度目標（指標②）	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	活用・検証	活用・検証	活用・検証

<2019年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	・スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けて検討し、取組をまとめました。また、検討した取組のうち、他団体のホームページへのPR記事掲載や、QRコードを掲載したPRカードの配布など、一部の取組については先行して実施しました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	・鶴川地区協議会に5回、町田市社会福祉協議会に2回、町田国際交流センターに6回など、各団体の広報紙に生涯学習センターの講座情報を掲載し、広く周知しました。また、「平和祈念事業」に際して、共催団体及び上映作品の公式ホームページにイベント内容を掲載し、広くPRを行った効果として、来場者が2018年度に比べ787人増加しました。
課題	・スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けて、更なる取組を進める必要があります。 ・生涯学習センターの周知に向け、より多くの他団体と連携する必要があります。
今後の取組の方向性	・スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた検討を行い、取組を進めます。 ・より効果的な発信力を強化するために、文学館まつり、時代まつりと相互にPRを行い、相乗効果を目指します。

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】	文化財係・自由民権資料館・文学館
--------------------------------	------------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2019年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 市役所イベントスタジオや市民センターにおいて、市内の「なすな原遺跡」に関する展示や自由民権資料館の所蔵資料展示を計8件実施するとともに、地域の遺跡や歴史に関する出張講座を8回行いました。また、町田ゆかりの作家を紹介する展覧会の出張パネル展示を小田急百貨店をはじめ、7か所で行い、出張講座を1回行いました。 これら出張事業の合計は24件となりました。 中学校で出前授業を2件予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業を実施した学校や展示を実施した施設との関係を保ちながら、継続的に出張事業を実施するとともに、新たな実施先の開拓が必要です。 新型コロナウイルス感染拡大防止の方策をとりながら、事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学生にとって分かり易い出前授業のコンテンツを小・中学校にPRし、新たな実施校を開拓します。また、出張事業の実績のある学校や施設とも連絡を継続的にとり事業を進めていきます。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新たな生活様式に沿った運用を検討します。

■取組2-3 子ども読書活動の推進【◇】 図書館

事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書等を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	②外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				利用状況等の検証
年度目標（指標①）	第四次計画の策定完了	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認
年度目標（指標②）	4,500冊	5,000冊	5,500冊	6,000冊	6,500冊

<2019年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の策定に向け、4回の策定委員会と2回の作業部会を開催したほか、2019年10月には市民意見を募集し、2020年2月に策定をしました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> 「えいごのまちだ推進事業」による英語教育の推進に合わせ、各図書館で外国語の絵本・児童書を約800冊購入し、蔵書数は約4,800冊になりました。また、中央・鶴川駅前・忠生の3館に「英語多読コーナー」を設置しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 町田市子ども読書活動推進計画推進会議は、委員間でより活発な意見交換ができるように、会議の運営を見直す必要があります。 外国語の絵本・児童書について、より効果的な選書方法の検討と英語多読コーナーの運用方法について検証する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 策定した第四次計画の推進を図るとともに、会議の運営を見直した上で、推進会議を開催し評価していただきます。 「英語多読コーナー」の全館設置を目指し、外国語の絵本・児童書を計画的に購入しコーナーの準備を行います。また、英語多読を定着させるために市民による多読サークルの結成を支援します。

■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】	図書館
------------------------------	-----


事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	②学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援内容の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容の検証
年度目標（指標①）	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標（指標②）	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

<2019年度の事業実績>

達成状況（指標①）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用校数：28校 ・学校図書館と連携を強化するため、教員や図書指導員の研修で、制度の説明を行いました。マルチメディアDAISY（デイジー）*の有用性についての案内を行い、活用をお勧めしました。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数：2,632冊 ・学校図書館支援貸出に関するアンケートを、全小・中学校に向けて行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用学校数は前年度より4校減少しました。特に中学校の利用が少なくなっています。 ・アンケートの結果から学校図書館支援貸出については、学校支援貸出用セットを準備する等、改善すべき点が見つかりました。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別学校支援貸出用セットを準備し、改善に取り組みます。 ・2019年度に引続き、教員や図書指導員の研修会等の機会を捉えて、制度の説明を継続して行い、利用促進を図っていきます。

*マルチメディアDAISY（デイジー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができる、パソコンで読む本のこと。学習障害などがある場合にも有用。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
---------------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件	
	②SNS発信数		219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		SNSを利用した情報発信			
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

<2019年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターが主催する講座の中で、考古資料室や自由民権資料館、中央図書館における現地学習を行い、各生涯学習施設の担当職員とともに施設のPRを行いました。また、文学館と国際版画美術館との観覧料の相互割引の実施や、エフエムさきみによるイベントの広報協力など、各機関と連携して施設のPRを行いました。 これら連携して行ったPR活動の合計は9件となりました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> 施設の開館情報や講座・講演会、展覧会等のイベントに関する情報など、ツイッターによる情報発信を計830回行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 実施したPR活動の検証を行うとともに、新たな連携先や効果的なPR方法の検討が必要です。 より多くのフォロワーを獲得できるよう、効果的なツイートの発信内容を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設や各機関と連携して、イベントの特徴を活かしたPR活動を行います。 効果的なツイートの発信内容について検討を進めながら、継続的な情報発信を行います。

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及により、読書量が減っていると言われてい ます。小学生以下の子どもの読書のきっかけとなる事業や、中学生を対象とした図 書館に足を運ぶきっかけとなるイベントを行うなど、18歳以下へ向けた取組を強化 します。				
これまでの取組	小学1年生を対象に「としょかんいちねんせい*」を実施しました。小学校高学年、 中学生、高校生を対象にPOP（本の紹介カード）を応募する「まちだライブ・ラ リー」を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	18歳以下の方の利用登録 につながる事業数		2事業	4事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の 実施・ 検討	3事業実施		4事業実施	
			事業内容 の検証		事業内容 の検証
年度目標	2事業	3事業	3事業	4事業	4事業

*としょかんいちねんせい：公立小学校の新1年生に引換券（兼・利用登録用紙）を配布し、図書館・
文学館に引換券を持参した児童にカードケースを贈る事業。

<2019年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の新1年生を対象とした「としょかんいちねんせい」事業、5、6歳から小 学校低学年を対象とした読書手帳の配布、小学校4年生から高校生までもを対象とし た「POPコンテストまちだ2019」を行い、計3事業を実施しました。 ・中学生が勉強目的でも図書館を利用できるよう、中央図書館5階のヤングアダルト コーナーにおいて、2020年1月から「TEEN LIBRARY（若者の優先 席）」を増設しました。また、夏休み期間中における中学生のグループ学習用ス ペースとして、中央図書館6階の中集会室を試行的に開放しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型事業評価において、高校生評価人から、学習スペースを始めとした中 高生の居場所を作って欲しいとの要望があり、検討していく必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの18歳以下の方に利用登録をしていただけるよう、POPコンテスト等 の企画内容の充実を図ります。 ・2019年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した「まちだクエ スト*」を実施します。 ・学習室の充実について、集会室などの既存スペースを有効活用し、2019年度か ら提供を開始した中学生のグループ学習用スペースの提供期間を拡大します。 ・若者のニーズを把握するため、中学生が図書館事業に参加できる仕組みを検討し ます。

*まちだクエスト：謎解きゲームを通じ図書館内を巡ることで、図書館の基本的な構造や、本を借りる
だけではない図書館の便利な使い方を体感してもらう中学生向けのイベント。

■取組2-7 シニア世代向け事業の充実

図書館

事業概要	いつでもだれでも気軽に利用できるという図書館の強みを活かし、地域の図書館で認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくための取り組みを行います。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	シニア世代を対象とした事業数		未実施	2事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施検討	1事業実施		2事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	実施検討	1事業	1事業	2事業	2事業

<2019年度の事業実績>

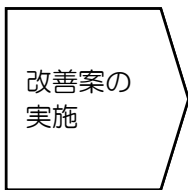

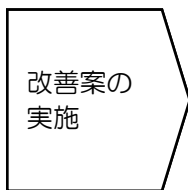
達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 「大人のためのおはなし会」や「大人も楽しめる紙芝居」と題した講座を開催し、併せて講座の中でシルバー川柳コンテストや大型活字図書を紹介を行いました。また、生涯学習センターとの共催で「図書館を活用した調べ学習」と題した講座を行い、計3事業を実施しました。 職員を対象に認知症サポーター研修を開催し、新たに152名が受講しました。受講者数は延べ166名となり、受講率は93%になりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> シニア世代を対象とした事業を新たに実施したことで、一定のニーズがあることが分かりました。住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくために、さらに効果的な情報提供方法、事業内容などを検討する必要があります。 職員の多くが認知症サポーター研修を受講したことを活かすことができる事業について検討、実施する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 職員の多くが認知症サポーター研修を受講した成果を活かし、認知症予防に関する講座を新たに開催するなど、引き続き、シニア世代が地域でいきいきと健康に暮らしていくために役立つ事業を検討、実施します。

事業概要	通常の活字による読書が困難な人の学びのきっかけとなるよう、マルチメディアDAISY（デイジー）*の貸出を拡充するなど、より対象者を広げた障がい者サービスを行います。				
これまでの取組	視覚障がいなどで活字を読むことが困難な人、寝たきりなどで図書館への来館が困難な人へのサービスを行っています。さらに、視野狭窄などにより読書が困難な人を対象に、リーディングトラッカー（読書補助具）の貸出を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	通常の活字による読書が困難な人を対象とした事業数			1事業	3事業
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	2事業実施		3事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業

*マルチメディアDAISY（デイジー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。

<2019年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアDAISYについて、利用希望者やボランティアなどを対象にした上映会や、新任教員研修でのPRを行い、2019年9月から学校図書館支援貸出での活用を開始しました。 ・2019年10月に、「図書館利用に障がいのある方へ～図書館障がい者サービスのご案内～」と題した講座を開催し、サービスのPRを行いました。 ・リーディングトラッカーの貸出を含め、実施した事業の合計は3事業となりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアDAISYをはじめ、障がい者サービスの利用促進に向けて、更なる取り組みを進める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアDAISY等の利用促進に向けたPRを行います。 ・大活字本コーナーやAVコーナーへのポスター掲示、特集コーナー展示等を通じて障がい者サービスをPRし、新規利用を促進します。

事業概要	町田市の施策や町田市の魅力をより多くの市民にPRするために、図書資料の展示方法やPRを改善しながら、「本の特集コーナー」による情報提供機会の充実を図ります。				
これまでの取組	2015年度から町田市の施策をPRするための「本の特集コーナー」を市の各部署と連携して行っています。市の施策を市民に役立ててもらおうとともに、図書館利用者を増やす取り組みのひとつとなっています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」の実施数		19回	33回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	19回	26回	26回	33回	33回

<2019年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・他部署と連携して行った「ラグビーワールドカップ2019（TM）特集」や、まちだパリオと連携して行った「パリコレッ！芸術祭2019特集」など、「本の特集コーナー」を延べ22回実施しました（中央図書館15回、金森図書館2回、鶴川駅前図書館4回、忠生図書館1回）。 ・「本の特集コーナー」を連携して実施した部署に、アンケートを行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特集コーナーに関連する資料を集め、各部署のチラシ等を置くだけでなく、更なる相乗効果を生み出すような連携を模索する必要があります。 ・アンケートでは、「反響が大きかった企画の事例が知りたい」、「複数の館で同時期に同じ展示ができれば相乗効果が高まる」などの意見があり、これらに対する対応を検討していく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「本の特集コーナー」の充実に向けて、改善点の洗い出しと改善案の検討を継続して行います。 ・特集に関する他部署との打合せにあたり、反響が大きかった企画の紹介をします。 ・地域図書館も含めた複数館による連携について検討します。

事業概要	中学生を対象に町田ゆかりの作家*を紹介し、町田市への愛着をさらに持ってもらうきっかけとなるよう、パンフレット「町田の文学ガイド」を作成します。				
これまでの取組	大人向けの資料として、展覧会で紹介した町田ゆかりの作家を図録にまとめています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	「町田の文学ガイド」作成		未実施	作成・配布	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	他市事例等の調査	ゆかり作家情報の整理・調査	企画立案・編集方針の決定	原稿作成 校正作業	印刷・完成 配布
年度目標	調査完了	調査完了	編集方針の決定	原稿完成	完成・配布

*町田ゆかりの作家：遠藤周作や森村誠一など、その生涯や作品が町田市と深く関わり、文学の分野で一定の社会的評価を受けている小説家、歌人、俳人、詩人、絵本作家、漫画家等。

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県立土屋文明記念文学館や世田谷文学館、小樽文学館、和光大学等の事例を調査しました。また、2020年3月に中学校の教員や図書指導員の意見を聞く機会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実現できませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町田ゆかりの作家の基本情報を調査・整理する必要があります。 ・中学生が興味関心を持てるような、ゆかり作家の紹介方法を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町田ゆかりの作家の基本情報を調査・整理して、町田市ホームページ上で公開します。 ・中学生のニーズ把握に努めながら工程に沿って計画的に進めていきます。

■取組3-1 地域の課題解決に向けた学習支援【◇】	生涯学習センター
----------------------------------	----------

事業概要	地区協議会をはじめとした地域団体や関係機関と連携・協働しながら、住民自らが課題を見つけ出し、解決に向けて行動できるよう学習支援を進めていきます。				
これまでの取組	鶴川地区の交流促進や様々な困りごとの相談の場となっている鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて「まなびのひろば」を共催し、地域の歴史や文化を理解する講座などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	連携事業を実施した地区協議会の数 （累計）		1地区	5地区	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各地区協議会への働きかけ				
	地区協議会との連携事業の実施 （1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施 （1地区）	検証	地区協議会との連携事業の実施 （2地区）
年度目標	2地区	検証	3地区	検証	5地区

<2019年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区協議会の催し「3水スマイルラウンジ」の一企画として、『まなびのひろば』を年6回開催し、地域の自然、歴史、文化に関する講座を実施しました。 ・南大谷玉川学園地区協議会と連携、協働の方策について協議をしましたが、調整が進まず講座を実施することはできませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区の取組は6年目となり、これまでの成果や新たな課題について、改めて協議会と協議する必要があります。 ・未実施の地域については、地域と丁寧な協議を進め、事業展開をする必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川地区協議会との連携、協働を継続し、地域のニーズに合った学習機会を提供します。 ・これまで連携事業を実施していない地区協議会に働きかけ、連携、協働のもと事業の実施に向けて調整を進めます。

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】

文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	町田デジタルミュージアム構築の進捗			未実施	システム構築完了、公開（2022年度）
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開	公開	
	歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資料の抽出・撮影を完了し、デジタル化した資料の一部をホームページに公開しました。 歴史コンテンツ編集に着手しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度に撮影・公開した歴史資料（52点）に比べて、2020年度に撮影・公開する考古資料（140点：古民家・横穴墓・土器など）は、量や規模が増大するため、進捗管理をより徹底する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 町田デジタルミュージアムの構築を契機として、小・中学校における授業での活用や、他機関への資料の貸出など、考古・歴史・民俗資料の更なる活用方法も併せて検討・実施していきます。

■取組3-3 「文学の扉」事業の推進【◇】 文学館

事業概要	より多くの市民に文学やことばに親んでもらえるよう、町田ゆかりの作家の紹介や文字・ことばの魅力伝える展覧会を、ことばに関連する他ジャンルを幅広く取り込みながら、より柔軟で多様な内容により実施します。また、若年層を対象とした創作活動などの学習事業を充実します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家を紹介する展覧会を中心に年4回の企画展を実施しています。また、0歳児・1歳児対象のおはなし会「ちちんぷいぷい」や小学生対象の俳句実作講座「子ども俳句教室」、一般対象の文学やことばに関する講演会など、ライフステージに合わせた学習事業を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①展覧会を通じ、新たな興味や学習意欲につながった人の割合（観覧者アンケート）		84%	90%	
	②中高生から20歳代を対象とした事業数		1事業	3事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	展覧会の実施、内容の検証・改善				
	若年層対象事業の 実施・ 検討	若年層対象事業（2事業） 実施		若年層対象事業（3事業） 実施	
年度目標 （指標①）	86%	87%	88%	89%	90%
年度目標 （指標②）	事業の検討	2事業	2事業	3事業	3事業

<2019年度の事業実績>

達成状況 （指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 （指標①）	・来館者の新たな興味関心を喚起するため、デザインや美術の視点を取り入れた展覧会や時宜に適った展覧会を実施し、88.7%の来館者の新たな興味関心を得られました。
達成状況 （指標②）	B 目標を達成した
取組状況 （指標②）	・若年層向けの事業は、展覧会で1事業実施したほか、ワークショップを2事業計画しましたが、新型コロナウィルスの影響で1事業のみの実施となりました。
課題	・来館者は中高年が多いのが現状です。若年層の来館を促すため若年層を対象とした事業を積極的に企画することが必要です。 ・新型コロナウィルス感染拡大防止のための方策を取りながら、事業を行う必要があります。
今後の取組の 方向性	・より多くの方々、特に中高生から20歳代の若年層に文学の魅力伝えるために、情報の発信に努めるとともに、新しい視点による多彩な事業を企画します。 ・市民が家にいながら文学に親しむことができる機会を創出します。

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

* 下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。

* 細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

<2019年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 下三輪玉田谷戸横穴墓群1号墓の乾燥による崩落を防止するため、保存科学の専門家から助言を得て、日光の遮蔽板を入口部分に設置しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 近年、横穴墓内の天井や壁の老朽化が急速に進んでおり、早急に現況の記録化や保存措置が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保存管理計画策定に向けて、現況の記録化などを行い、必要に応じて応急的な保存措置を講じます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実	文化財係
----------------------------	------

事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	文化財の公開・活用イベント件数		4件	6件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント5件実施	イベント6件実施
	イベント内容検証		イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討
	4件	4件	4件	5件	6件

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記4件のイベントにおいて、指定文化財を公開・活用しました。 ①文化財防火デー ②多摩郷土誌フェア ③新緑の薬師池を楽しむ茶会 ④町田のへそまつり
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財を公開・活用する際には、破損が生じないよう対策が必要です。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方策をとりながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用前に破損防止の対策を講じるなど、保護と公開・活用の両立を図っていきます。 ・ 新たな生活様式に沿ったイベントを検討します。

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した地域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借用し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	資料館への満足度 (来館者アンケート)		77%	85%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展 2回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

<2019年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度は施設改修工事により休館期間が約4ヶ月あり、企画展「町田の八王子千人同心」と、特別展「町田の近代と青年」の計2回実施しました。 ・来館者に対しアンケートを実施しました。常設展・特別展・企画展それぞれに関して、「興味深かった」または「興味を持てた」と回答した方の割合は76%でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者の満足度を上げることができるよう、アンケートの結果を分析するとともに、開催する展示の内容に合わせて、アンケートの内容を見直す必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの来館者の声を聴くために、効果的なアンケートの回収方法を検討します。 ・市民のニーズに答えられるよう、開催する展示に合わせたアンケートの内容を検討します。

事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	講座・講演会等の実施回数			60回	70回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 「自由民権カレッジ」および「古文書講座」を通年実施しました。また、特別講座「町田の近代史」を6回、特別展「町田の近代と青年」に関連した講演会を3回実施し、計46回実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、講座の応募者数が減少傾向にあるため、新たな受講者を獲得できるよう、広報などの周知方法を工夫する必要があります。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方策をとりながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民ニーズに応えられるよう、他部署や他機関と連携して講座を開催するなど、実施手法を検討します。 講座・講演会等の情報を、広く市民に周知できるよう、効果的なPR方法を検討します。 新たな生活様式に沿った運用を検討します。

事業概要	市民の調査・研究を援助するレファレンスは、市民一人一人の学びを深めることができる重要なサービスです。求める資料を見つけることができるように、レファレンスサービスの充実に向けて技術の向上を図ります。さらに、レファレンス事例の公開や、インターネット情報にアクセスできる環境を整備します。				
これまでの取組	レファレンス事例をデータ化し、インターネットで公開しました。基本的な資料を案内する「パスファインダー」を作成しました。調べ物に役立つ情報をまとめた「レファレンス通信」を発行しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	レファレンス事例の公開件数（累計）		162件	250件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	レファレンス事例の公開				
	レファレンス事例の点検と今後の改善方法の検討		レファレンス技術の向上のための改善プラン実施		事例の公開の振り返り
年度目標	190件	205件	220件	235件	250件

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例をインターネットで13件公開し、公開件数は延べ206件になりました。また、過去に公開したレファレンス事例の内容を2件改訂しました。 ・所蔵資料の中から、調べ物に役立つ基本的な資料をテーマ別に案内する「パスファインダー」については、医療情報に関する資料5点の改訂を行いました。また、町田に関する資料1点の新規作成を行いました。 ・イベントやレファレンス資料を紹介する「レファレンス通信」を3回発行しました。 ・国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にもレファレンス事例を公開し、他図書館からも意見をいただけるよう、改善を図りました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例については、利用者の調べ物に役立つよう、引き続き幅広い分野について公開していく必要があります。特に町田の地域資料に関する事例の充実が必要です。 ・これまでレファレンス機能を知らなかった利用者や、利用していなかった市民にも、活用してもらうため、様々な事例を公開していることを、広く周知する必要があります。 ・「パスファインダー」については、最新の情報を提供するために定期的に改訂する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町田の地域資料を中心とした幅広い分野について、新たなレファレンス事例を公開します。 ・公開中のレファレンス事例の点検および改訂方法を検討します。 ・「パスファインダー」については、町田に関する資料の新規作成や改訂を検討します。 ・引き続き、「レファレンス通信」やイベントを通じて利用者への周知を行います。 ・レファレンス技術向上のため、都立図書館等の研修に積極的に参加します。

■取組4-1 市民提案型事業の推進【◇】

生涯学習センター

事業概要	学習ニーズをより反映させた内容となるよう、市民団体の提案を基に地域課題の解決につながる学習講座を提案者とともに作り上げていく市民提案型事業「まちチャレ*」を拡充します。				
これまでの取組	地域で活動する学生団体が企画・運営する学生活動報告会*を開催するとともに、市民提案型事業「まちチャレ」を開始しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	市民提案型事業「まちチャレ」で実施する講座数		5講座	8講座	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5講座実施	6講座実施		7講座実施	8講座実施
	事業実施体制の整備				
年度目標	5講座	6講座	6講座	7講座	8講座

*まちチャレ：市民が日常生活の中の課題等を基に企画提案したものを、生涯学習センターとともに実施する学習講座。

*学生活動報告会：町田市や相模原市で活躍する学生団体が、ポスターブース等で活動内容を紹介するイベント。

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロコモ予防体操」、「親子で学ぶ災害への備え」、「町田ならではの歴史と文化」など、さまざまな分野の5講座を実施しました。そのうち2講座は南地区や鶴川地区など地域で開催し、地域開催を増やしました。 ・南市民センターで実施した1講座と、生涯学習センターで実施した1講座の各受講者が、修了後に計2つのグループを立ち上げ、今後の活動につながりました。 ・2020年度からの講座数増加に向け、事業及び事務分担の見直しなど、市民の学習ニーズに応えられるよう、事業実施体制の検討を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・講座数の増加に向けて、講座開催時期ができるだけ重ならないよう、調整する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の実施状況を検証し、更なる講座数の増加に向けて、継続して事務分担の見直しなど事業実施体制を整備します。

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・ 文学館
-------------------------	-----------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権資料館では、古文書講座や自由民権カレッジなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

<2019年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	B 目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> 史料集や目録の刊行に向け活動する関係団体が、定期的に研究会を開催し活動できるよう支援しました。 事業数 8事業 = 史料集等刊行事業：5団体 目録刊行事業：3団体、研究会開催回数：78回
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> 市民への聞き取り調査を行いました。継続的な意見交換会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働のあり方や研究成果物の活用方法について、ビジョンを明確にもつ必要があります。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については、手法の見直しが必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果物の刊行に向け引き続き関係団体の学習・研究活動を支援するとともに、収蔵史料の整理やテーマの選定をおこないます。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については新たな手法を検討します。

■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】	図書館
--------------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数		1回	3回	
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数		26人	90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		
年度目標 (指標①)	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標 (指標②)	30人	30人	60人	60人	90人

<2019年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標①)	・小学校保護者向け絵本の読み聞かせ講座「基礎編」を3回、「応用編」を2回、「実践編」を1回開催し、計6回開催しました。
達成状況 (指標②)	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 (指標②)	・小学校保護者向け絵本の読み聞かせ講座「基礎編」「応用編」「実践編」を開催し、基礎編53人、応用編57人、実践編8人、計118人の参加がありました。
課題	・小学校や学童保育クラブでの読み聞かせの需要は高まっています。「基礎編」「応用編」は説明が中心なので多くの受講者がありますが、「実践編」は参加人数を増やせない状況です。
今後の取組の方向性	・「基礎編」「応用編」は、現状と同様、中央図書館と忠生図書館を会場として実施していきます。 ・「実践編」は、各地域図書館持ち回りで行うなど、開催回数を増やすことを検討します。

■取組4-4 学習成果の発表機会の支援	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	生涯学習センターを拠点として活動している市民団体や、町田市及び近隣地域で活動する学生団体が、より多くの人に日頃の活動の成果を発表できる機会を提供します。				
これまでの取組	日頃の活動の成果を発表する「生涯学習センターまつり」、「学生活動報告会」を開催しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①生涯学習センターまつりへの参加団体数 （来館者数）		53団体 (2,167人)	58団体 (2,500人)	
	②学生活動報告会への参加団体数		9団体	11団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	生涯学習センターまつりの実施（運営委員会による内容検討）				
	学生活動報告会の実施（参加学生団体への支援・内容検討）				
	新たな支援 内容の検討	新たな支援 に向けた 調整	新たな支援の実施		検証
年度目標 （指標①）	54団体 (2,230人)	55団体 (2,300人)	56団体 (2,370人)	57団体 (2,430人)	58団体 (2,500人)
年度目標 （指標②）	10団体	10団体	10団体	11団体	11団体

<2019年度の事業実績>

達成状況 （指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況 （指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内の回遊性を高めるため、会場内の各所にスタンプを設置し、景品付きのスタンプラリーを実施しました。また、スタンプラリーの裏面にアンケートを印刷したことにより、アンケートの回収率が向上しました。 ・参加団体数は50団体、来館者数は延べ2,461人でした。
達成状況 （指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況 （指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年3月に開催予定だった学生活動報告会については、学園祭などで新規団体への参加の呼びかけを学生とともにに行い、9団体が参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターまつりについては、より多くの市民団体の参加を促すような新たな取り組みや、来館者数を増やすための更なる周知活動を進める必要があります。 ・学年の切り替わりとともに、代表者やメンバーが交代する学生団体が多いため、各団体との切れ目のない繋がりづくりや支援を行っていく必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・文学館まつり、ゆうゆう版画美術館まつり、時代まつりと連携して、生涯学習センターまつりのPRを行い、相乗効果により、来館者の増加を目指します。 ・学生活動報告会の延期開催に向けて、オンラインの活用など新型コロナウイルス感染症防止対策に対応した実施手法の検討を行います。

■取組4-5 生涯学習ボランティアバンク事業の推進	生涯学習センター
----------------------------------	----------

事業概要	生涯学習ボランティアの知識や技能を広く市民の学習活動に活かすことができるよう、生涯学習ボランティアバンク事業の更なる周知に努め、利用件数の向上を図ります。				
これまでの取組	小学校PTA連絡協議会において、保護者向けに事業の周知を図りました。 また、事業の周知のため、生涯学習センターまつりにおいて一日体験講座を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	生涯学習ボランティアバンクの利用件数		16件	30件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たなPR 方法の検討	新たなPR 方法の実施	検証	検証結果に基づくPR方法の 見直しと実施	
	生涯学習ボランティアバンクー日体験講座の実施				
年度目標	18件	22件	25件	28件	30件

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の「登録講師ガイド」について、分類や目次の表記をより詳細にする見直しを行い、5月にリニューアルして発行しました。 ・制度を広く市民に周知するため、6月と12月に、広報まちだへの掲載や、町内会・自治会の代表者にPR用のチラシを送付しました。 ・センターまつりにおいて、3日間に渡り、生涯学習ボランティアバンクー日体験講座を実施しました。 ・新たなPR方法について検討を行い、試行的に「登録講師ガイド」をまちライブラリーに配架しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、利用申請後に3件のキャンセルがあり、利用件数は計19件でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録件数及び利用件数の増加につながるよう、新たなPR方法の検討を継続して行うとともに、実施する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報まちだへの掲載や町内会・自治会への周知に加え、ツイッターによる情報発信を行います。 ・保育園や幼稚園の利用が比較的多いため、市内の各保育園、幼稚園向けにPRを行います。

■取組4-6 障がい者の学習成果を発表する場の充実 生涯学習センター

事業概要	障がいのある人が、社会で生活しながら学び続けられるように、視覚や聴覚などの障がいに応じた学習要求の調査、研究を行い、学習プログラムを開発します。その上で、発表の場を設けることで障がい者の生涯学習を推進します。				
これまでの取組	主に知的障がいのある人を対象とした障がい者青年学級において、学級ごとに学習成果の発表の場を設けるなど、生涯学習の推進に取り組んでいます。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	障がいに応じた学習成果の発表の場		未実施	実施 (2021年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	調査・研究	学習プログラムの開発	事業の実施・検証	事業の実施・検証	事業の実施・検証
年度目標	調査・研究	学習プログラムの開発	実施・検証	実施・検証	実施・検証

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 障がい種別に応じた学習要求を調査するため、町田市身体障害者福祉協会の会員を対象にアンケート調査を実施し、集計結果をまとめました。具体的には、視覚や肢体に障がいがある人は歌やコーラス、聴覚に障がいのある人は日常生活に役立つ講座や趣味的な講座に興味があることが分かりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人が学習成果の発表の場をイメージできるように、学習プログラムを開発する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の集計結果をもとに、関係機関と連携して障がい種別に応じた学習プログラムを開発します。

事業概要	市民の学習を支える図書館活動を市民参画・協働でこれまで以上に進めることができるよう、図書館で活躍するボランティアの活動分野を拡げていきます。				
これまでの取組	児童サービスの「おはなし会ボランティア」、障がい者サービスの「宅配ボランティア」・「音訳ボランティア」・「点訳ボランティア」・「対面朗読ボランティア」で市民ボランティアが活動しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	ボランティア活動分野の拡大			5分野	7分野
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5分野	6分野		7分野	
	拡大に向けた検討				
年度目標	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり5分野でボランティアの活動がありました。 ①「おはなし会ボランティア」 小学生・幼児向け：329回、乳幼児向け：146回開催 ②「宅配ボランティア」宅配件数：377件 ③「音訳ボランティア」音訳資料制作タイトル数：60点 ④「点訳ボランティア」点訳資料制作タイトル数：22点 ⑤「対面朗読ボランティア」対面朗読件数：298件 <p>・新たに「配架ボランティア」「修理ボランティア」の制度導入について検討し、他市の配架ボランティア導入状況の調査を行いました。また、図書館協議会と意見交換しました。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在活動しているボランティアの分野は、経験や専門性を必要とするものが多いため、市民がより参画・協働しやすい活動分野や活動方法について検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のボランティアと意見交換を行い、活動の幅を広げる検討を行います。 ・利用者の声やアンケート等を活用して、利用者のニーズ把握に努め、ボランティアの活動分野を増やす検討をします。

事業概要	多くの市民が文学の楽しみを知り、市民同士の交流が広がるよう、市民の活動の自発性を尊重しながら、その学習成果や文学的知識、技能、表現力などを還元できる機会をつくります。				
これまでの取組	読み語り実行委員会との朗読会、紙芝居サークルとの紙芝居上演会、幼児向けおはなし会などを協働で実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	支援団体数		5団体	7団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	市民団体への支援				
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
年度目標	6団体	6団体	6団体	7団体	7団体

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> • 下記のとおり6団体の文学活動を支援しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①桃の木工房「おはなし会」 ②ふわふわ座「紙芝居上演会」 ③時代小説語り読み実行委員会「朗読会」 ④町田連句を楽しむ会「町田市民連句大会」 ⑤町田立教会「講演会」 ⑥雑学大学「講演会（※）」 ※講演会の開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。 • 事業内容の検証を適宜行い、事業の改善に努めました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> • 多くの市民団体に支援の機会を提供できる仕組み作りが必要です。 • 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方策を取りながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> • 多くの市民団体に支援の機会を提供できるよう、支援内容等を検証し、より効果的な周知に努めます。 • 新たな生活様式に沿った運用を検討します。

■取組5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】 生涯学習センター

事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①多文化共生*に関する学習事業数		1事業	3事業	
	②社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ 把握	新たな 事業の 実施
年度目標 (指標①)	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業
年度目標 (指標②)	3事業	4事業	4事業	5事業	5事業

*多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。

<2019年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	B 目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> ・町田国際交流センターと共催して、「外国のダンスとお話と」と題した講座を実施しました。海外の民族舞踊の紹介や、日本に在住する外国人の子育て体験を聞き、「みんなが住みやすいまちへ」をテーマにパネルディスカッションを行いました。 また、夏の平和祈念事業の中で、子どもを対象に「ことばのオリンピック」と題したイベントを実施し、ゲームや音楽を用いて各国の言葉や民族衣装など文化を体験する機会を提供しました。
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者青年学級」と「まなびテラス」を通年で実施するとともに、文部科学省受託事業の一環として「障がいがあってもなくても自分だけの踊りと出会う旅」と、「若葉とそよ風のハーモニーコンサート」を開催し、4事業実施しました。 ・また、視覚障がいなどがある人を対象に学習に関するニーズ調査を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが多文化共生に関するテーマに興味、関心を持って講座を企画することを促すなど、啓発に向けて市民のニーズをより反映させた形で学習機会を提供できるよう努める必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生に関する事業は、多様な切り口で意識の啓発を図れるよう毎年工夫します。 ・学習に関するニーズ調査の結果を受けて、関係機関と連携した学習プログラムを開発します。

■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
-----------------------------	-----

事業概要	町田市内には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①読書活動推進にかかる連携施設数		20か所	25か所	
	②読書マップの作成		未実施	作成・公開 （2020年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年度目標 （指標①）	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標 （指標②）	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

<2019年度の事業実績>

達成状況 （指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況 （指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・連携施設数は20か所になりました。 ・南町田のまちライブラリーなど連携する機関との調整を行いました。
達成状況 （指標②）	C おおむね目標を達成した
取組状況 （指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度に読書マップを作成するまでのスケジュールを作成しました。 ・読書マップ作成のための仕様書骨子案を作成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や民間事業者が提供している本と出会う場所を把握していく必要があります。 ・今後集約が予定されている地域図書館の取り扱いを整理する必要があります。 ・市民へ、読書マップのより効果の高い周知方法を考える必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫や大学図書館、まちライブラリーなど、市民が本に触れることができる市内の施設情報を集約した読書マップを作成します。

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】	文化財係
---------------------------------	------

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稲荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗		整備着手	ガイダンス施設 建設工事完了	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計、ガイダンス施設基本計画	牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本設計・展示基本設計	ガイダンス施設実施設計・展示実施設計	ガイダンス施設建設工事
年度目標	八幡平遺跡整備工事	基本計画 八幡平遺跡公開	基本設計	実施設計	建設工事

<2019年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡平遺跡の四阿（あずまや）建設工事および公園整備工事（スロープ、植栽等）を実施しました。 ・整備工事の状況について、ホームページでの情報発信を行いました。 ・2020年3月に遺跡の見学会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・整備事業は、国や都の補助金採択や市の財政状況の影響を大きく受ける事業です。 ・文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信により遺跡の認知度を高める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡平遺跡の整備工事を実施します。 ・2018年度取得した牢場遺跡内の土地の整備設計を行います。 ・ホームページでの情報掲出や見学会の開催などを通じて、遺跡の魅力を発信します。

事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①史料整理数（累計）		42,000点	67,000点	
	②目録作成点数		0件	3件目着手	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	史料の寄贈・寄託の受入れ、史料整理				
	史料目録作成（1件目）		史料目録作成（2件目）		史料目録作成（3件目）
	年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

<2019年度の事業実績>

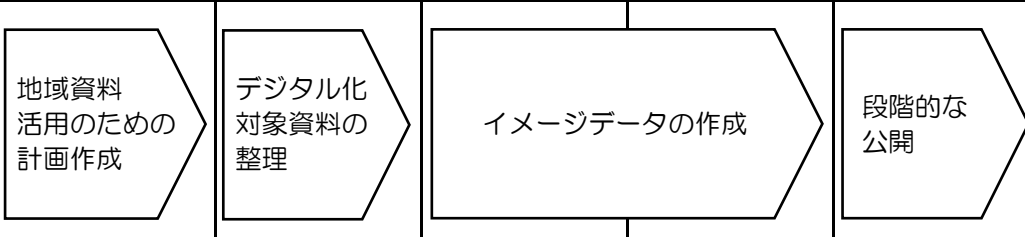
達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	・多くの市民ボランティアや大学等との協働により、計53,200点の史料整理を完了しました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	・「家永三郎文庫」の目録の作成に着手しました。 ・「浪江虐関係史料」、「野津田町・河井家文書」、「下小山田町・若林家文書」、「小野路町・細野家文書」、「鶴間・井上家文書」、「小山・守屋家文書」等の整理作業を進めています。
課題	・「家永三郎文庫」については、一部未整理の史料があるため、整理作業を完了する必要があります。 ・より多くの史料整理を完了できるよう、計画的に整理作業を進める必要があります。
今後の取組の方向性	・「家永三郎文庫」の整理作業を進め、2020年度末に目録を刊行します。 ・計画的に整理作業を行い、収蔵史料の保管に努めるとともに、市民の利活用に供します。

■取組5-5 図書館利用者の利便性の向上	図書館
-----------------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及、書籍のデジタル化により市民の読書スタイルは多様化しています。図書館に来館しなくても市民が読書をする機会が増えるよう、電子書籍の導入を目指します。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	電子書籍サービスの導入		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 先進事例の研究調査・ 補助金の調査・ 民間活力手法導入検討 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 導入のための仕様作成と 実施に向けた準備 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 実施 </div>
年度目標	調査	検討	仕様作成	実施準備	実施

<2019年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人電子出版制作・流通協議会の情報をもとに、他自治体の導入状況などについて調査しました。 ・電子書籍サービスを提供している事業者から、サービス内容について情報収集しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の導入状況などの調査結果から、コンテンツ数が少ない、コンテンツの費用が高い、利用が予想より多くない、などの課題が判明しました。 ・より多くの市民に利用され、町田市の特徴を出すためには、どのようなコンテンツ構成で電子書籍サービスの提供を開始するべきか、検討が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービスについて、町田市の特徴を出せるコンテンツやサービスを検討します。 ・それぞれの事業者のサービス内容や利用方法などについてより詳しく調査します。



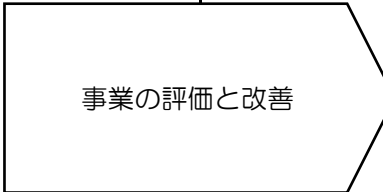

事業概要	現在、紙の媒体で管理されている地域資料は、地域活動を行っていく上で重要な資料です。これらを積極的に活用できるよう、これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ*化を進めます。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	地域資料のデジタルアーカイブ化の推進		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	検討	整理	データ作成	データ作成	実施

*デジタルアーカイブ：電子図書館をはじめ、作品、文化財その他の情報をデジタル化して収集・保存・公開する活動や場の総称。

＜2019年度の事業実績＞

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資料のデジタルアーカイブ化について、他自治体の実施状況について調査しました。また、デジタルアーカイブ化を行っている事業者から実施手法について情報収集を行い、地域資料活用のための計画作成に着手しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の実施状況を調査した結果、資料によっては許諾が必要な場合などがあり、より詳細に資料の選定をする必要があります。 ・デジタル資料はデータ形式・媒体が廃止となる可能性もあるため、なるべく汎用性が高いデータ形式・媒体を採用する必要があります。 ・導入計画策定にあたり、補助金等に関する詳細な調査が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化対象資料の絞り込みを行います。 ・地域資料活用の計画作成を継続し、完成させます。

■取組5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施	図書館
----------------------------------	-----

事業概要	図書館全館で利用者アンケート調査を実施し、図書館利用者のニーズを把握して、図書館サービスの改善に役立てます。				
これまでの取組	図書館全館での利用者アンケートを2009年度から3回実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	図書館利用者アンケートの実施		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	検討	実施	活用	活用	検討

<2019年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを把握し、新たな図書館施策に活かせるよう、これまでの図書館利用者へのアンケートとは別に、図書館以外の公共施設利用者に図書館の利用に関するアンケートを実施しました。 ・市政要望や利用者の声、メールフォームでいただいた要望を項目別に整理し、ニーズの把握に努めました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館以外の施設でアンケートを実施したことにより、普段図書館をほとんど利用しない市民の意見を得ることができました。これらの意見を参考に利用者の幅を広げる取組が必要です。 ・図書館利用者へのアンケートを実施するにあたっては、設問などを見直し、市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉えることが必要です。 ・アンケート等で得た市民ニーズや社会情勢の変化を、「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の実行にあたり反映させる必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉えるよう、設問を見直したうえで、全館で利用者アンケートを実施します。 ・あらゆる市民にとって利用しやすい図書館となるよう、アンケート等で得た情報を活かし、「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に掲げた図書館サービスの各取組を具体化します。

事業概要	継続的に収集してきた町田市の文学的財産である町田ゆかりの作家の貴重な資料を、適切に整理・保存・研究し、研究の成果を広く市民が利用できるよう公開します。また、これまでに蓄積した情報や資料を継承していくための図録や目録等を作成します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家の資料を収集・保存・研究し、公開しています。毎年、展覧会の成果をまとめた図録を作成しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①貴重資料の公開回数		未実施	年4回	
	②図録や目録等の作成件数		1件	2件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	公開（試行） 調査	検証・調査	公開・調査		
	図録等の刊行（年1件）				
			目録等の 企画・検討	図録等の刊行（年2件）	
年度目標 （指標①）	公開（試行）	検証	公開（年2回）	公開（年2回）	公開（年4回）
年度目標 （指標②）	1件	1件	1件	2件	2件

<2019年度の事業実績>

達成状況 （指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況 （指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 中垣ゆたか氏から寄託された絵本原画や、おぼまこと氏から寄贈された絵本原画等の貴重資料の公開を試行的に4回行いました。前年度から準備を進めていたため、年4回の実施を実現することができました。
達成状況 （指標②）	B 目標を達成した
取組状況 （指標②）	<ul style="list-style-type: none"> 展覧会「白洲正子のライフスタイル」展の内容をまとめたパンフレットを1点作成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に資料整理、調査研究を進める必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 資料の整理を進め、研究の成果を展示や図録で公開します。

事業概要	町田市の文学的財産である町田ゆかりの作家の原稿、色紙、絵画等の特別資料を後世に残し、市民に継承できるよう適切に保存します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家の貴重図書や貴重雑誌、特別資料（原稿、色紙、絵画等）を収集し、整理、登録しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	特別資料の登録数（累計）		575点	1,450点	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	特別資料の収集				
	特別資料の整理・登録		整理計画の作成		特別資料の整理・登録
	整理計画の作成		特別資料の整理・登録		
年度目標	850点	1,000点	1,150点	1,300点	1,450点

<2019年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おぼまこと氏の絵本原画等の特別資料を累計971点登録しました。全体の業務量を見直し資料整理に注力したため、目標値を上回りました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、イベント等の実施が難しくなっています。このため、市民が家にいながら利用できる資料の整備が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別資料の整理と登録を行うとともに、市民が利用しやすいように町田市ホームページ上で公開します。